



平成31～令和4年度 科学研究助成基金助成金 基挑戦的究 [開拓] 課題番号20K20421

「大学入試学」基盤形成への挑戦  
— 真正な評価と実施可能性の両立に向けて —

## 研究の進捗状況と総括に向けて

東北大学高度教養教育・学生支援機構 教授  
研究代表者 倉元 直樹

## 進捗状況構成

1. 過去の研究会プログラム
2. 今回の研究会プログラム
3. これまでの研究進捗状況
4. 最終年度の研究計画
5. 報告書の作成
6. まとめ

2022/8/28

挑戦科研 令和4年度第1回研究会「進捗状況と総括」

2

## 過去の研究会プログラム (1)

- 令和元年度第1回研究会 (2019.8.25)
  - 研究概要および令和元年度計画
  - 【研究報告1】「大学入試学」構築への挑戦  
(倉元直樹 [東北大学])
  - 【研究報告2】 CBTにおける算数の得点と文字入力方式に関する分析 (銀島史 [国立教育政策研究所])
  - 【研究報告3】 大学教育再生加速プログラム (AP) : お茶の水女子大学の新しい入試を例に  
(安成英樹 [お茶の水女子大学] / 倉元直樹 [代理])

2022/8/28

挑戦科研 令和4年度第1回研究会「進捗状況と総括」

3

## 過去の研究会プログラム (2)

- 令和2年度第1回研究会 (2021.3.5)
  - 今年度の研究進捗状況について
  - 【研究報告1】 お茶大新フンボルト入試の現状と課題 (安成英樹 [お茶の水女子大学])
  - 【研究報告2】 入学者選抜の効果検証の在り方を考える (西郡大 [佐賀大学])
  - 【研究報告3】 韓国の大学修学能力試験における記述式問題導入の議論 (田中光晴 [文部科学省])

2022/8/28

挑戦科研 令和4年度第1回研究会「進捗状況と総括」

4

## 過去の研究会プログラム (3)



- 令和3年度第1回研究会（2021.9.29）
  - 研究進捗状況（令和3年度）
  - 【研究報告1】 英語スピーキングテストを大学入試に導入する国内外の取り組み（小泉利恵 [清泉女子大学]）
  - 【研究報告2】 eアセスメントにおける国内外の現状と課題（銀島史 [国立教育政策研究所]）
  - 【研究報告3】 私立大学定員管理の厳格化が東日本の公立高等学校に与えた影響（末永仁 [東北大学]）

2022/8/28

挑戦科研 令和4年度第1回研究会「進捗状況と総括」

5

## 過去の研究会プログラム (4)



- 反省点
  1. 結局、**年1回の開催**になってしまった
  2. 発表者が偏っていた
- 不確定要因
  - **新型コロナウイルス感染症**の蔓延
    - 本科研費研究会を含む様々な活動に制約
- 今回の**対面（ハイブリッド）開催**は僥倖

2022/8/28

挑戦科研 令和4年度第1回研究会「進捗状況と総括」

6

## 今回の研究会プログラム



- 研究の進捗状況と総括に向けて（本発表）
- 【研究報告1】 大学進学における進路選択プロセスに関する日中比較研究（林如玉 [東北大学]）
- 【研究報告2】 入試の不正防止と公平性（西郡大 [佐賀大学]）
- 【研究報告3】 大学入試学会への期待と展望（倉元直樹 [東北大学]）

2022/8/28

挑戦科研 令和4年度第1回研究会「進捗状況と総括」

7

## これまでの研究進捗状況 (1)



- 研究成果はウェブサイトで公表してきた
- 平成31・令和元年度
  - 書籍出版1件、参考資料6件
- 令和2年度
  - 書籍出版1件、学術雑誌8件（うち査読なし2件）、学会発表3件、参考資料8件

2022/8/28

挑戦科研 令和4年度第1回研究会「進捗状況と総括」

8



## これまでの研究進捗状況 (2)

- 令和3年度  
書籍出版2件、学術雑誌5件（うち海外1件）、学会発表7件、参考資料8件
- 令和4年度  
現時点まで、書籍出版1件、学会発表2件、取材記事1件、参考資料5件
- 量的には十分なアクティビティのエビデンスか？

2022/8/28

挑戦科研 令和4年度第1回研究会「進捗状況と総括」

9



## これまでの研究進捗状況 (3)

- 令和3年度終了時点の予算と執行状況

	物品費	旅費	人件費	その他	合計
総予算額	3,126,000	8,834,000	2,830,000	5,010,000	19,800,000
令和3年度までの予算額	2,646,000	7,779,000	2,080,000	3,495,000	16,000,000
令和3年度までの執行額	3,299,221	4,599,740	2,777,388	3,987,966	14,644,315
令和4年度繰越額	-653,221	<b>3,179,260</b>	-697,388	-492,966	1,335,685
令和4年度予算額	480,000	1,055,000	750,000	1,515,000	3,800,000
<b>使用可能残額</b>	<b>-173,221</b>	<b>4,234,260</b>	52,612	1,022,034	<b>5,135,685</b>

2022/8/28

挑戦科研 令和4年度第1回研究会「進捗状況と総括」

10



## これまでの研究進捗状況 (4)

- 2年度目（令和2年度）から基金化
- 繰越金額は全体で1,335,685円  
→ **最終年度予算が約35%増**となっている
- 物品費は赤字、**旅費**の残額が大きい
  - コロナ禍が発生 → 人の移動が制限
- 最終年度は**旅費の有効活用**を念頭に計画

2022/8/28

挑戦科研 令和4年度第1回研究会「進捗状況と総括」

11



## 最終年度の研究計画 (1)

- 海外調査
  - 初年度（平成31・令和元年度）中国調査
  - 最終年度（令和4年度）**フランス調査**を計画中
- フランス調査の背景 (1): コロナ禍
  - コロナ禍の下での大学入学者選抜の考え方
  - 東アジア圏とヨーロッパ、アメリカの**価値感**に大差
  - コロナ対応に関してイギリスとフランスとの類似性

2022/8/28

挑戦科研 令和4年度第1回研究会「進捗状況と総括」

12



## 最終年度の研究計画 (2)

- フランス調査の背景 (2): 入試制度改革
  - フランスで進行中の**バカロレア改革**
  - その渦中でコロナ禍の発生 (阿部・倉元、2022)
- フランス調査計画の概要
  - 時期：年末か年始
  - 調査対象：試験機関、リセ、大学の学生管理セクション等を念頭に置いて**訪問先を選定中**

2022/8/28

挑戦科研 令和4年度第1回研究会「進捗状況と総括」

13



## 報告書の作成 (1)

- 研究実績報告書
- おそらく、**2023年5月中旬頃**までに提出？
- 令和4年度分の研究成果もできるだけ記載したい
- 出来るだけめれなく早めに申告を！
  1. **謝辞に本科研費を明記した研究成果**を掲載
  2. ウェブサイトに掲載した研究成果が基本
  3. その他の関連業績はHPに【参考資料】として掲載

2022/8/28

挑戦科研 令和4年度第1回研究会「進捗状況と総括」

14



## 報告書の作成 (2)

- 研究報告書の内容
  - ウェブサイト掲載の研究成果から**ダウンロード**
  - 【参考資料】を除く、書籍もチラシ程度を掲載？
  - 著作権処理に関しては応相談 → 不掲載も？
- 研究成果報告書は**PDF**で納品
  - 科研費ウェブサイトにも掲載予定
    - 100部程度は**印刷**して研究分担者に送付

2022/8/28

挑戦科研 令和4年度第1回研究会「進捗状況と総括」

15



## 報告書の作成 (3)

- 報告書作成に当たっての工夫
  - ウェブサイトの活用 → **繁忙期のやり取りを最小限に**
  - **研究成果報告**、ウェブサイトへの掲載をお忘れなく！
- 研究成果報告書、実績報告書の意義
  - できれば、**次の研究**につながるような成果としたい
  - 実績報告書の内容が業界紙に紹介されたケースも
    - ← 潜在的には**高い関心**があることを念頭に

2022/8/28

挑戦科研 令和4年度第1回研究会「進捗状況と総括」

16

## まとめ



- 研究開始 1 年後からのコロナ禍環境
  - 困難: 予定通りの研究遂行ができない難しさ
  - 利点: **新しい研究テーマ**の発生と新しい発展
    - コロナ禍のテーマは基盤研究 (A)「コロナ禍の下での大学入試政策及び個別大学の入試設計のための総合的入試研究」に引き継ぎ
- **本研究プロジェクトの発展構想**は研究報告 3 で

ご清聴  
ありがとう  
ございました